

# 平成16年度（2004年度）事業の報告（抜粋）

## 1. 英語教育に関する研究

今年度のELEC研究グループは、教材・教授法、情報・資料の収集および分析等の研究活動を行い、その成果を『英語展望』に発表した。また、"Advisory Board"委員会（委員長：小池生夫 明海大学教授、委員：和田稔 明海大学教授、金谷憲 東京学芸大学教授）を開催し、文部科学省「行動計画」研修の実施状況など英語教育の現状、英語教員に対する専門的な講習会の企画、『英語展望』のテーマと執筆者について助言を頂いた。

## 2. 英語教員に対する専門的な講習会の開催

### (1) ELEC英語教育研修会(The ELEC Seminars for English Teachers)

文部科学省後援のもとにELEC英語研修所を会場とし、夏期、冬期、春期、延べ26日間の英語教員指導法研修会を実施した。受講者合計384名で、昭和32年以来の受講者累計は13,213名となった。

### (2) 教育委員会英語教員研修への支援

「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」（2003年、文部科学省）に基づく教育委員会主催英語教員悉皆研修の実施にあたり、東京都、栃木県、埼玉県及び仙台市教育委員会英語教員研修会に協力・支援を行った。

## 3. 一般成人に対する英語講習会等の開催

### (1) ELEC英語研修所(The ELEC Institute)

研修所は、例年通り、春学期（4月～6月）、夏学期（7月～9月）、秋学期（10月～12月）、冬学期（1月～3月）の4学期制を継続している。

また午後のスキル別コースや、昨年度から実施し好評を得ている「50分個人レッスン」を午後の時間帯にも定着させ、教室の有効利用を果たすことが出来た。

総合英会話コース：

午前部	週2日コース（月・水／火・木）
	週1日コース（火／金／土）
午後部	週2日コース（月・水／火・木）
	週1日コース（金／土）
夜間部	週1日コース（月／火／水／木／金）

専門コース：

夜間部 TOEIC受験コース（火）  
TOEFL受験コース（金）  
ビジネス英語コース（火／金）

個人レッスン：

週1回 火、木 の午前（1レッスン50分）  
新設： 週1回、月、火、水、木、金の午後（1レッスン50分）

(2) 夏期・春期集中英会話コース

一般成人を対象とし、7月下旬～8月上旬と2月～4月のそれぞれ2期、各4週間の集中研修を実施した。

(3) 企業内研修

企業、官庁、大学、団体等の要請に応じてそれぞれの目的に合った特別コースを編成し、ELECからの講師出張を行い、29の官庁・企業、及び、8つの大学での研修を実施した。

(4) 個人レッスンを12名に対して実施した。

(5) 英語力テスト

今年度は企業研修先のレベルチェックの為のELEC開発テスト・SDT-II並びにPTSAに加えTOEICのIPテストを研修所内受講生、及び企業内研修先数社に対して行った。

(6) 英文添削

本年度の英文添削サービスの利用件数は個人18名並びに法人2社であった。依頼内容は主として個人用論文の添削、企業用プレゼンテーション資料原稿などであった。

4. 英語教育に関する資料の頒布

(1) 定期刊行物

『英語展望』（ELEC Bulletin） 特集『「英語が使える日本人」はこう育てる』  
第111号

English Teaching FORUMの頒布

Vol.42 Nos. 1, 2, 3, 4

(2) 録音教材

昨年同様、諸教育団体、各種学校、出版社のための語学教材等の録音を行った。

## 5. 英語教育の研究に対する援助と助言

### E L E C 賞

本年度のE L E C 賞は、応募論文8編（実践記録4編、研究論文4編）を厳正に審査した結果、A部門(実践記録)：飯田浩行氏（世田谷学園高等学校）の「ディベート、ディスカッションに向けての即興スピーチ指導」に対し授与した。

## 6. 語学教育研究諸機関との連絡協力

諸大学、言語教育研究諸機関との間に、刊行物の相互交換を行った。また、「日本外国語教育改善協議会」にE L E C の職員を参加させ、積極的に協力した。尚「日本外国語教育改善協議会」はE L E C ほか主要英語教育研究団体及び高等学校ドイツ語教育研究会で構成され、外国語教育の現状に対する認識及び将来への展望に基づき改善策を講じアピールをまとめて行政機関に提言を行っている。

## 7. その他の事業

### 講演会

E L E C 賞授与式・特別講演会において岡秀夫氏（東京大学大学院総合文化研究科教授）による講演を実施した。「コミュニケーション能力を育てる英語教育へ-『教養vs.実用』『理論vs.実践』の対立をのりこえて」と題し、教養と実用、理論と実践をどのように融合しどのように改善すればいいのかを示し、また教員自身の授業力養成について具体的実践への方向性を提示した。

### 英語教育改善への事業

『英語展望』No.111で『「英語が使える日本人」はこう育てる』を特集し、英語教育への課題を整理して改善への指針を示した。また、文部科学省「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」に賛同し、本事業報告1頁の「英語教員に対する専門的な講習会の開催」で触れたように1都2県1政令指定都市教育委員会の英語教員研修に協力・支援した。これらの研修をE L E C のノウハウの蓄積をもとに企画・運営し、英語教員研修会の一つのモデルとして育てていきたい。

# 収支計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I. 収入の部			
1 基本財産運用収入	29,000,000	31,635,675	-2,635,675
2 会費収入	0	0	0
3 事業収入	266,060,000	259,058,728	7,001,272
4 寄付金収入	0	0	0
5 雑収入	4,000,000	37,747,902	-33,747,902
6 固定資産売却収入	92,420,000	66,604,239	25,815,761
7 職員融資金戻り収入	0	56,000	-56,000
8 保証金返還収入	10,880,000	8,094,960	2,785,040
当期収入合計 (A)	402,360,000	403,197,504	-837,504
前期繰越収支差額	60,000,000	43,337,048	16,662,952
収入合計 (B)	462,360,000	446,534,552	15,825,448
II. 支出の部			
1 事業費	221,270,000	234,556,407	-13,286,407
2 管理費	159,690,000	139,839,117	19,850,883
3 固定資産取得支出	12,000,000	21,887,835	-9,887,835
4 保証金支出	2,400,000	0	2,400,000
5 職員融資金支出	0	0	0
6 予備費	7,000,000	0	7,000,000
当期支出合計 (C)	402,360,000	396,283,359	6,076,641
当期収支差額 (A-C)	0	6,914,145	-6,914,145
次期繰越収支差額 (B-C)	60,000,000	50,251,193	9,748,807

## 正味財産増減計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1. 資産増加額	28,801,980	
2. 負債減少額	33,904,000	
増加額合計		62,705,980
II 減少の部		
1. 資産減少額	114,564,550	
2. 負債増加額	3,338,000	
減少額合計		117,902,550
当期正味財産減少額		55,196,570
前期繰越正味財産額		1,307,550,066
期末正味財産合計額		1,252,353,496

## 貸借対照表

平成17年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産	72,621,024	
2. 固定資産	1,265,684,862	
基本財産	(902,000,000)	
その他の固定資産	(363,684,862)	
資産合計		1,338,305,886
II 負債の部		
1. 流動負債	14,869,390	
2. 固定負債	71,083,000	
負債合計		85,952,390
III 正味財産の部		
正味財産		1,252,353,496
(内基本金)		(902,000,000)
(内当期正味財産減少額)		(55,196,570)
負債及び正味財産合計		1,338,305,886

# 財 産 目 録

平成17年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	367,397		
預金	19,250,003		
受取手形	1,478,925		
売掛金	29,469,440		
仮払金	130,000		
前払金	3,594,863		
未収金	10,829,955		
商品	7,500,441		
流動資産合計		72,621,024	
2. 固定資産			
基本財産			
預金・国債	902,000,000		
基本財産合計	902,000,000		
その他の固定資産			
設備	97,494,129		
備品	43,505,532		
投資有価証券	183,062,161		
保証金	39,623,040		
職員融資金	0		
その他固定資産合計	363,684,862		
固定資産合計		1,265,684,862	
資産合計			1,338,305,886
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,241,221		
前受金	1,296,500		
買掛金	258,044		
預り金	1,031,625		
仮受金	42,000		
流動負債合計		14,869,390	
2. 固定負債			
退職給与引当金	71,083,000		
固定負債合計		71,083,000	
負債合計			85,952,390
正味財産			1,252,353,496